

園の未来をデザインする

保育ナビ

11

NOVEMBER 2011

08/12

特集 パート職員、非常勤職員と共に

これからの保育に赤ちゃん学を! 赤ちゃんと睡眠

園経営の扉をひらく! 保育マネジメント講座

第8回 財務管理の基礎知識(3)

国の動きを読む! 研究者の目

文科省編 「養護」と「教育」再論

厚労省編 総合施設、幼稚園、保育所で構成される「こども園(仮称)」の姿



今すぐ使える
スピーチアイデア
保育参観/七五三

SPECIAL INTERVIEW

匠に学ぶ
坂本フジエ(助産師)

どうする? こうする!
困ったときの保護者対応
子どものけがについて
一園での適切な対処法

違いがわかる
小学校案内
環境の捉え方の違い②

新潟県魚沼市

認定こども園

金城幼稚園・金城保育園

学校法人金城学園・社会福祉法人若葉会

お話をうかがったのは… 角谷正雄幼稚園長先生

共に学び合い、意思の疎通をはかっています

DATA

園児数 / 101名。
 教員・保育士数 / 26名。
 そのうち非常勤4名、
 パート5名

「研修」のチャンスは
全職員平等に

当園ではパート職員・非常勤職員も、正規職員と同様に園内外の研修に参加してもらっています(こちらから指定した研修の場合、費用は園がもちます)。例えば入職1年目の4月〜7月は月に1回、園の新人職員研修と一緒に参加しますし、夏と冬には「合同研究発表会」と称して大学から講師を招き、これからの自分たちの課題を見つけ合うことに全職員で取り組みます。ただしこれは土日開催が多いため、パート職員の参加は難しいのが現状です。

非常勤職員は職員会議はもちろん必要に応じて企画会議などに参加しますし、朝のミーティングでの伝達事項も共有しますが、計画類の作成やクラスなどよりなどの作成は行いません。その点が正規職員と大きく違うところです。持ち帰り作業が多くなるので、そこは正規職員が担うべきと考えています。その負担感から「私は非常勤でいい」と言う方がいるのも確かですね。

「自己申告書」で
理解する職員の思い

毎年10月に、パート職員や非常勤職員を含め全職員が提出する「自己申告書」は職員の思いを理解するのに役立っています。これはA4サイズの用紙1枚に、来年度への希望や、現在の思いを表明するもの。必要に応じて私と保育園長・総括主任が個人面談をし、改善できるものは何か考えていきます。これは雇用の形態を問わず、等しく意見を聞く機会となり、本人や経営側にとっても次年度への見通しをもった貴重なステツプになっています。これが職場をうまく回すコツともいえるのかもしれませんが。

基本的に「幼稚園・保育園とも保育現場に必要な最低限の人数は正規職員でまかない、子どもたちにとってより良い環境をつくるために手が回らない部分を非常勤・パート職員にお願いする」のが当園の考え方です。年度によって入園児数は変わりますが、その増減部分をパート職員で対応する形になっていますが、引き継ぎや申し送り、事故報告書の情報共有は徹底して全職員で行います。